

知的オフィス環境推進協議会

2021年5月定例研究会 報告書

1. プログラム

◆日時：5月26日（水）15：00－17：00

◆開催方法：オンライン研究会（Teams を利用）

◆内容

15：00－15：05 オープニング（会長）

15：05－15：40 講演 1

「出会いからイノベーションを生み出す」

－Sansan が目指す DX/Eight が作るビジネス SNS の世界－

講師：Sansan 株式会社 執行役員 小川泰正氏

<https://webtan.impress.co.jp/e/2019/02/28/31763>

<https://hodai.globis.co.jp/courses/f8f03677>

15：40－15：50 コーヒーブレイク（飲み物各自）

15：50－16：30 講演 2

「知的（スマート）エネルギーデザインの実現に向けて」

三菱地所が都心業務地区で「環境価値の最大化と社会経済活動の最大化」に

挑む共生型の面的なエネルギーまちづくりのご紹介

講師：三菱地所株式会社 スマートエネルギーデザイン部長 鯉淵祐子氏

本年4月1日に三菱地所様が設置した「スマートエネルギーデザイン部」の活動を中心にお話をさせていただきます。

https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec210325_energy_strategy.pdf

16：30－16：50 総合討議

16：50－17：00 クロージング（理事長）

2. 関係者への礼状

sansan 株式会社

小川泰正様

三菱地所株式会社

鯉淵祐子様

（ご講演順）

写：三菱地所株式会社 谷澤淳一様、村上孝憲様、北村真志様

知的オフィス環境推進協議会運営委員各位

ご参加者各位（BCC）

三木です。

昨日 26 日は知的オフィス環境推進協議会の 5 月定例研究会において大変貴重なご講演をいただき、誠に有り難うございました。

小川様のお話は sansan 株式会社が進める名刺情報を基にしたビジネスネットワークの高度化に関するもので、とても勉強になりました。特に、名刺を登録した人が年数という時間的流れの中で、スキルアップし、所属や役職が変わり、転職し、eight を利用する人が自分のビジネスを進める上で適切な仲間や相談あるいは交渉相手を適切に見つけることができる人材データベースを活用することができるのは素晴らしいことだと思いました。私は名刺管理ソフトを用いて 1000 人近いデータベースを持っていますが、所属や役職、会社などが変わり、同じ会社でもメールアドレスが変わるなど、常に連絡を取らない限り追跡は困難です。それがお互いに eight を使えば、いつでもその繋がりが続くということは本当に有り難いことだと思います。

また、自分の名刺の変化によってスキルマネジメントやキャリアデザインができること、自分の情報をうまく発信できればより良い転職やキャリアアップにも繋がります。特に、現在ではビジネス環境の変化が激しく、名刺の情報が毎年のように変わる人も多く、まさに名刺管理は sansan 株式会社が進めるクラウドサービスが最適だと思いました。

sansan 株式会社の名刺情報のマネジメントでは、セールスフォースや帝国データバンクなど他者の種々のデータベースと繋がり、そのネットワークを通じてその人の総合的なパワー（知識、スキル、人脈、経験など）が見える化できるのだと思います。こうしたビジネスネットワークの広がりは各企業の DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する鍵になりそうです。すでに sansan では従来の請求書をオンライン化する Bill One というサービスや、従来の契約書をオンライン化する Contract One サービスも開始しているとのこと、広がりの多様性に驚きました。

sansan のサービスはアナログ情報のデジタル化が中心であり、99.9%の精度でデジタル化できる技術の開発がサービスの根幹となっています。このサービスを開始した頃は名刺の画像からの入力であり、それにコストがかかっていましたが、その後、AI 技術の導入で、画像からのデータの切り分けや入力がほぼ自動化され、名刺の単なる管理だけではなく、ビジネスネットワークのハブとなってサービスが発展していったこと。この流れは、まさに DX の一つの革新的なソリューションであると言えます。sansan は今後、オンライン名刺の普及に努め、その情報を基盤として知識、経験、技術などを特徴付けたイベントなどの開催と、集客のネットワークサービスを利用者に提供するという。まさにオンライン交流のプラットフォームとなるということになると思います。

小川様のお話を聞き、従来のアナログ的な仕事のやり方を、利用者に負担をかけずにデジタル化し、ビッグデータ化から大きな効用を利用者に示し、各企業の DX を支援するイノベーションを知る

ことができました。

一方、鯉淵様のお話は、三菱地所が多くビルを持つ丸の内エリア（大丸有、大手町、丸の内、有楽町の総称）における電気と熱の一体的供給による脱炭素の取り組みと、各ビルにおけるビジネス継続性（BCP）の確保を図る取り組みを紹介して頂きました。

鯉淵様が部長をされている三菱地所株式会社のスマートエネルギーデザイン部は今年の4月に設置されたものであり、ロンドンで仕事をされていた鯉淵様は昨年4月に日本に戻られ、新設の部署ができる2日前に人事異動の話が聞かれたとのこと、企業の人事のスピード感に驚きました。そして、本日の講演が部長としての最初のご講演となったこと、我々としては誠に有り難いことと思っています。そして、本日までの短期間にこれまでのご専門とはまったく異なる部署の専門知識を頭に入れられたことに敬服しました。

大丸有地区は業務分野のビルが大部分であり、古いビルでは照明や空調の機器が古くて省エネルギーに変える必要があること、一方、建て替えられる新たなビルでは省エネルギー機器が入るが、階数が高くなり面積が増えることで、合計のエネルギー消費は多くなること、また、業務の内容が類似のため昼にエネルギー消費のピークが来ることなど、エネルギー需要の平準化は非常に難しい状況です。

一方、創エネルギーについては、太陽光発電パネルを置く面積が少なく、地区内での創エネルギーには大きな限界があります。このため、大規模なソーラー発電所やバイオマス発電所、あるいは風力発電所からの再生エネルギーを19棟のビルに供給し、各テナント企業はRE100（再生エネルギー100%）を宣言できることなど、非常に先進的な取り組みをされていることを知りました。

一方、災害に対応するレジリエンスの観点からは、地区内での自営可能電源も必要との事で、CGS（コ・ジェネレーションシステム）での電熱供給が重要となり、これに関しては過去に本協議会の村上孝憲理事（三菱地所株式会社）にご企画いただいた二重橋ビル地下のエネルギープラント見学と、スーパーチューブの見学会を開催して頂いたことで理解が深まりました。

鯉淵様が所属するスマートエネルギーデザイン部での具体的な3つの柱、すなわち、1) 供給マネジメント、2) 需要マネジメント、3) ネットワークマネジメントはまさに広い面積を保有する三菱地所ならではの取り組みだと思いました。しかし、これを実現するためには、国や東京都が保有する道路の地下を使用するという、極めて難しい問題を長い年月にわたって解決してきた三菱地所の先人達の努力の賜だと分かり、不動産事業の息の長い仕事のご苦労を知ることができました。

鯉淵様が最後に仰ったこと、すなわち、これからのエネルギーは選択の時代になること、コスト・

レジリエンス・ストーリーの重要性、そしてハードウェアのみならず個人のライフスタイルも視野に入れなければならないというお話に感動しました。私はこれまで10年間以上、環境の選択性の重要性を言い続けてきてようやく多くの方が納得していただくことになりましたが、鯉淵様のこのお話は本当に数年後には多くの先進的企業や先進的な人々が納得する内容だと感じました。

三菱地所株式会社は大丸有地区において、脱炭素とBCPに貢献する先進的技術の実験場所として提供することも積極的に行っているため、本協議会の会員とも今後、大いに繋がり、スマートエネルギーデザインという分野で共創できれば本協議会として嬉しい限りです。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

最後になりましたが、小川様と鯉淵様には、ご多忙の中、ご講演をいただき、誠に有り難うございました。また、鯉淵様をご提案いただきました三菱地所副社長の谷澤様、鯉淵様の講演のご企画をいただいた村上様と、実現に向けてご準備をいただいた北村様に厚く御礼を申し上げます。谷澤様には貴重なコメントもいただき、高価格となる可能性がある再生エネルギーをビル側として一般的な価格で19棟のビルに提供する画期的な試みの詳細もご説明いただき、有り難うございました。

さらに、クロージングでは本協議会の理事長である西村先生から、三菱地所の高いブランド力こそが先進的技術の支援に必要で有り、それを大いに活用して欲しいとの大変貴重なご提言をいただき、また大変興味深い本「サピエンスの未来」(現代新書)をご紹介いただき、有り難うございました。早速、購入して読んで見たいと思います。

また、本研究会にオンラインでご参加いただき、有益な議論をして頂いた皆様に深く感謝を申し上げます。今後とも、本協議会の活動にご支援、ご協力を頂きますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

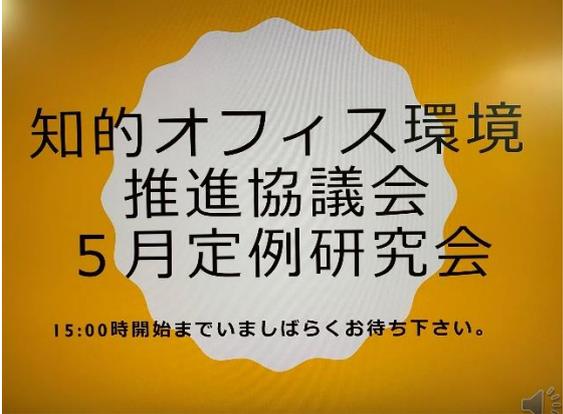
皆様、有り難うございました。

知的オフィス推進協議会

会長 三木光範

電話：080-4567-8828

3. 関連写真



- 知的オフィス環境推進協議会 5月定例研究会
- ◆日時:5月26日(水)15:00-17:00
 - ◆開催方法:オンライン研究会(Teamsを利用予定)
 - ◆内容
 - 15:00-15:05 オープニング(会長)
 - 15:05-15:40 講演1
 - 「出会いからイノベーションを生み出す」
 - Sansanが目指すDX/Eightが作るビジネスSNSの世界 -
 - 講師: Sansan株式会社 執行役員 小川泰正氏
 - <https://webtan.impress.co.jp/e/2019/02/28/31763>
 - <https://hodai.globis.co.jp/courses/f8f03677>
 - 15:40-15:50 コーヒーブレイク(飲み物各自)
 - 15:50-16:30 講演2
 - 「知的(スマート)エネルギーデザインの実現に向けて」
 - 三菱地所が都心業務地区で「環境価値の最大化と社会経済活動の最大化」に
挑む共生型の面的なエネルギーまちづくりのご紹介
 - 講師: 三菱地所株式会社 スマートエネルギーデザイン部長 榎淵祐子氏
 - 本年4月1日に三菱地所様が設置した「スマートエネルギーデザイン部」の
活動を中心にお話をさせていただきます。
 - https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec210325_energy_strategy.pdf
 - 16:30-16:50 総合討議
 - 16:50-17:00 クロージング(会長)



昨日 15:08

Mission
出会いから
イノベーションを
生み出す

Vision
ビジネスインフラになる

sansen
Eight
Bill One
sansen DSOC
テクノロジーとデータで、
新たな価値を創造

Participants: 田村名実希, tsukiyama, UMEMOTO MASAHITO, yamaguchi 山口 仁志, Yasumasa Ogawa, 伊藤 隆, 岡田 直之, 河村 真(氏), 河野 哲也(氏), 宮崎 京, 榎淵 祐子, 住田 章夫, 菅野SUKI

